

議会が **もっと** / 近くなる

市民の声

こども食堂

今号から、「こども食堂」を紹介していきます。

分水地区
こどもの居場所 SAKURA ぶんすい
(分水福祉会館)



地域でつながる
みんなのこども食堂♪

子供のありのままを受け入れられる場所があることが大切だと思います。開設しました。弱いつながりでも、たくさんのつながりがあることで子供たちのセーフティネットになり得ると思っています。毎週土曜日、ボランティアスタッフが子供たちと一緒に過ごすことで、異年齢の交流がはかられています。分水の多世代交流拠点として、市内外問わず、いろいろな方に来てほしいと思っています。



代表者 **佐藤 昌子**さん(小児科医)

吉田地区
つばめ地域食堂
(東栄町自治会館)

こども食堂の支援に感謝しています!



⑤ 担当者 **河合 純**さん
⑥ 学生ボランティア **竹田 菜音**さん

元々県内や被災地で子供の支援に関わっており、そこで得た知識や経験を地域に還元できればという思いで、2017年からこども食堂を始めました。

参加者は子供だけでなく、様々な世代の方々も来てくれて、地域の交流の場ともなっています。

議会だよりは読んでいます。市からはこども食堂の運営を支援してもらい、ありがたいです。

燕地区
みなみくーちゃん食堂
(コミュニティセンター殿島)



燕市は子供にとってよいまちです♪

月に1回コミュニティセンター殿島を使わせていただき、こども食堂を運営しています。

子供たちの居場所とともに、食事を作る体験をしてもらいたい、地域の大人と子供が触れ合う機会をつくりたいという思いで始めました。中高生の方も大歓迎なのでぜひ気軽に来てください!

議会だよりは全体を眺めながら気になる記事に目を通しています。

燕市は、こども食堂への助成金ですが、海外派遣や様々な取り組みなど子供にとって、とてもいいところだと思います。



代表 **白樺 晴江**さん

From editor

編・集・を・終・え・て

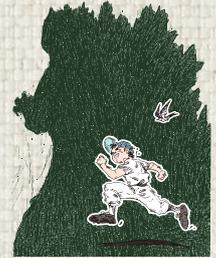
時代がスマホなどデジタル化が進む中で、多くの方に読んでいただけるよう議会だよりは紙面での提供を行っています。これからも「市民の声」での聞き取りを通して広く市民の現況をお伝えするなど「伝わる」議会だよりの編集に取り組みたいと思います。(齋藤信行)



Cover story

今・号・の・表・紙

表紙(No.35~No.45, No.56~No.82)を担当してくれていた金子明さんが亡くなりました。東京時代に漫画の新人賞を受賞し、デビューか?というところでしたが夢はかないませんでした。若い頃のアダ名が「ゴジラ」。そして野球漫画が好きだったことから、組み合わせてみました。合掌...



¥FREE (for 燕市民)
燕市議会 TSBN15213-2025

高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。
UD ユニバーサルデザインフォント

議会だよりは年4回(2月1日・5月1日・8月1日・11月1日)発行。各戸配布のほか、議会ホームページやスマートフォンアプリ「マチイロ」からもご覧いただけます。



「マチイロ」のダウンロードはこちらから